



# 支社長要請行動実施！

関東地本青年部は、3月13日に支社長要請行動を行いました。

度重なる輸送障害、慢性的な人員不足の中、安全・安定輸送を担っていること、若年退職者が増えていることなど諸課題を改善させる一步の為にも満額のベースアップの実施と諸要求の完全実施が必須である！！と要請してきました。

第3回交渉において会社は「昨年を確実に上回るベアは実施する。引き続き社内議論は続けるが単体5年連続で赤字となることが確実にになっている。貨物会社の経営体力的に厳しい」としています。

関東地青として、計画未達と来年度新賃金の申し入れは別のものです。賃金を抑制し、安全・安定輸送を実行し公共機関としての社会的使命を果たしている青年部の奮闘に報われない貨物会社の姿勢を断じて許すことはできません。

## 青年部は団結し 最後まで闘いぬこう！



2026年3月13日

日本貨物鉄道株式会社  
取締役兼常務執行役員  
関東支社長 篠部 武副 殿

日本貨物鉄道労働組合  
関東地方本部青年部  
青年部長 根岸 飛鳥

### 2026年度新賃金要求及び諸要求改善に関する要請

JR貨物労組は2026年2月18日に「2026年度新賃金要求の申入れ」と「諸要求改善に向けた申入れ」を行い、これまでに3回にわたる交渉を重ねてきました。私たち青年部員は、職種を問わず逼迫した要員体制の中で、指定公共機関としてJR貨物が担う鉄道貨物輸送の使命を全うしてきました。そのような状況の中、南長岡駅構内において青年部員が貨車から落車し、両足を失うという重大な労働災害が発生しました。当日は列車遅延や雪害が重なる異常時であり、このような異常時は関東支社管内だけでも毎週のように発生しています。それでも組合員が誇りを持って働いているからこそ、今この瞬間も昼夜を問わず現場では仲間たちの絶え間ない努力によって列車は無事に運行されています。

離職率が2%を超える状況はここ数年常态化しています。転職が一般化する社会とはいえ、鉄道の技術、特にJR貨物で求められる技術は一朝一夕で身につくものではありません。会社は若年退職の理由を「賃金だけではない」としていますが、年間休日などの労働条件も他のJRと比較して劣っており、選ばれにくい会社であることは否定できません。

鉄道貨物輸送を将来にわたり持続していくためには、継続した新規採用はもちろん、今いる青年部員が働きがいを持ち、モチベーションを高め、安心して生活できる環境が不可欠です。そしてJR貨物が今後も「選ばれる会社」であり続けるためにも、新賃金要求の満額回答と諸要求の実現は必要不可欠です。青年部員が将来ビジョンを描き、安心して働き続けられるよう、誠意ある回答を求めますので、犬飼社長へ上申を要請いたします。

記

1. 2026年度新賃金要求に基づき、ベースアップは18000円を実施されたい。
2. 昇給額表に記載されている昇給額を完全実施されたい。
3. 諸要求について完全実施されたい。
4. 老朽化設備及び各職場の危険箇所について早急に改修されたい。

以上